



図4-5-2 E町2丁目(2)

居住環境の評価については、図4-5-2にみられるように、植栽の管理が不十分な場所があることが指摘されている。特にこの撮影された地点では自転車の放置もみられるため、居住環境のコントロールが低下していることが懸念される。住民調査の対象者も警察への事件情報の通報意欲は高い上に、E町では地域安全活動が盛んに行われており、現在地域安全活動に参加していない住民を積極的に取り込んで、活動をさらに活性化させていく試みが待たれる。

## 6 F町1丁目

F町1丁目は、駅（A町1丁目とは異なる駅）のある町丁目に隣接しているが、集合住宅は少なく、一戸建ての住宅が中心となっている。調査対象となった住民は、地域諸団体の役職経験は多いものの、地域への愛着は比較的薄い。また近所で地域の安全について話題になることは少なく、不審者を認めたとしても、警察に通報したり近所に注意を喚起したりしないとする者の割合が高い。

治安関連の指標については、空き巣・忍び込み・子供への声かけ・ちかんの不安感が大きい。また、侵入盗やひったくりの人口比認知件数が多い。ひったくりについては、図4-6-1（カラーの図は巻末に添付）に示したとおり、町丁目の西側に犯罪の多発地域（ホ

ットスポット) があることがわかった。所轄担当官に対する面接調査で、町丁目の西側にある工場の敷地に沿った道路で、ひったくりが頻発していたことがわかった。図4-6-2は、ひったくりが連続して発生した道路を撮影したものである。道路の東側(画面左)が工場の敷地で、西側も別の工場の敷地や駐車場となっている。被害者は駅から歩行中、画面手前から奥へ移動している間にひったくりの被害にあっている。200m以上の直線道路で交差する道路はなく、工場の敷地の奥は住宅の密集地域で路地が多くなっている。直線道路で加速してひったくりを行った後は、路地に逃げ込んだりすることで、逃走を可能にしている。この道路の両側は工場や駐車場であるため、監視性が低い。特に東側の工場の高い塀が、周囲から道路への視線を遮るとともに、歩行者の動きを直進方向に制限するため、犯行が容易に遂行しやすくなっていると考えられる。この事例は、地理情報システムによる犯罪認知データの解析結果によって、地域の居住環境が不良である地点が明らかになった好例である。

このほか住民調査から、街灯の明るさ、植栽・公園・空き地の管理が不十分であるといった居住環境の問題が指摘されている。図4-6-3は、植栽が路地にはみ出して見通しを悪くしている地点の例である。夜間はこの植栽が照明を遮ってしまうことで、設置されている街灯が十分機能していないことが考えられる。

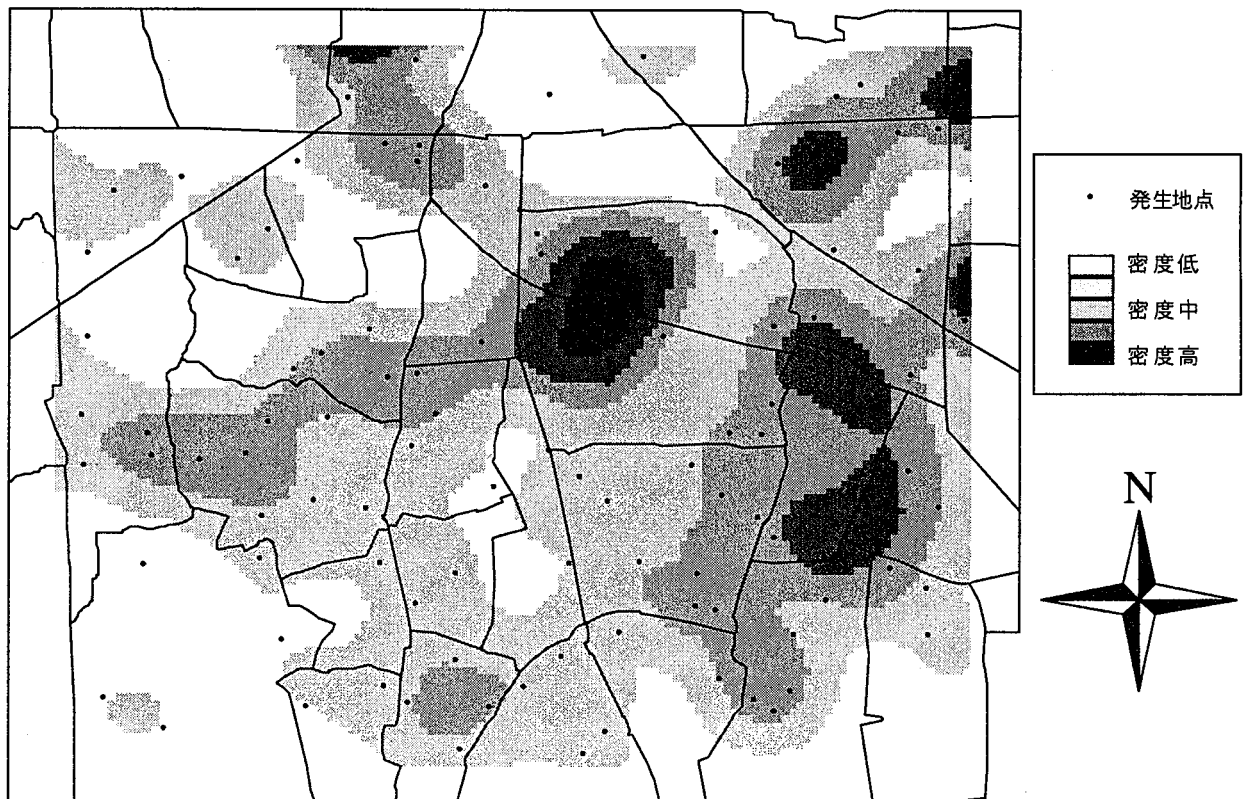


図4-6-1 F町1丁目付近のひったくりの発生密度(平成8から10年)

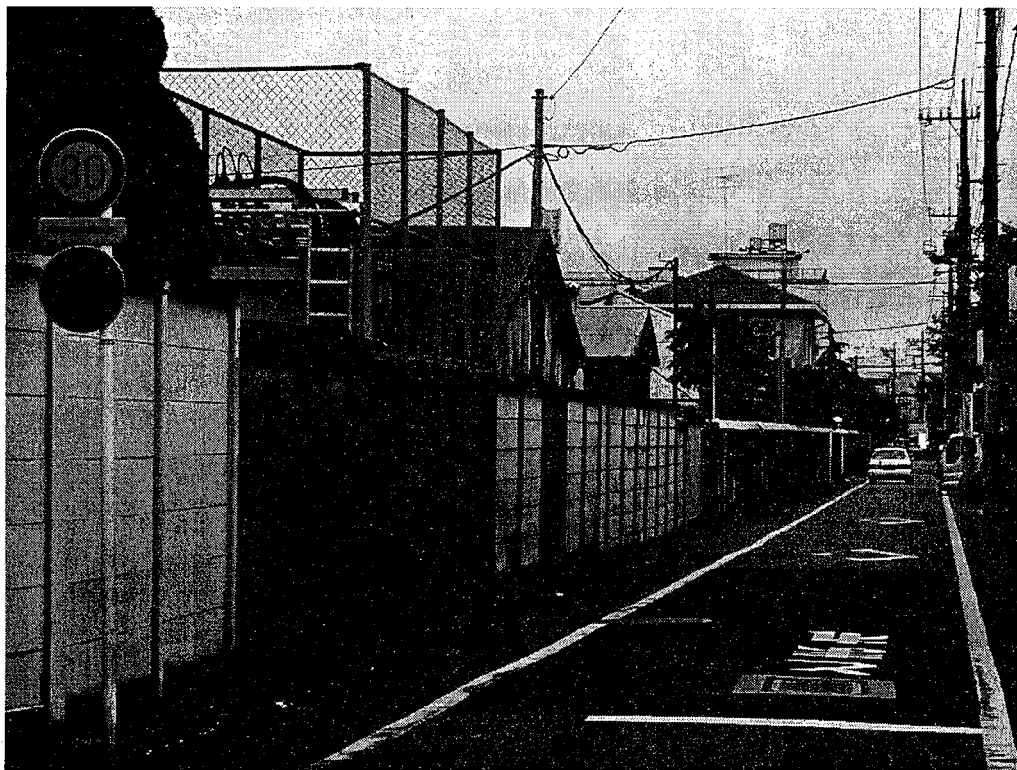


図4-6-2 F町1丁目(1)



図4-6-3 F町1丁目(2)

## 7 まとめ

以上これまでみてきたように、犯罪発生、地域安全活動、居住環境などについては、各町丁目個別の状況があるが、まとめとして自然的監視と領域性の観点から居住環境の改善の必要性について述べておきたい。

公園の管理の問題に関連して、自然的監視の必要性に言及した。これは「みる－みられる」関係が、公園であればその利用者・周辺居住者・通過者の自然な相互作用として織り込まれていくことにほかならない。D町1丁目の公園は、周辺から公園をみている人がいないだけでなく、利用者同士がお互いの行動を把握しておくことが困難になっている。そうした中でホームレスの居住という問題が発生していると考えられる。同様にB町3丁目の地域センター駐車場が少年のたまり場となっているのは、駐車場がB町3丁目という住宅街の中で、夜になると人々の目が全く届かない場所となるからである。まずE町2丁目の公園のように、明るく、周囲からの見通しをよくしておくといった物理的環境を整える必要がある。その上で、公園の利用を促進させることができれば、公園利用者・周辺居住者・周辺通過者による自然的監視のネットワークが構築される。

次に領域性に関しては、「どこまでが誰のテリトリーかが明確になっていること」と考えると、植栽の管理は個人の問題ではないことがわかる。植栽の管理が不十分な場所は、通行の際に邪魔になったり、街灯の光を遮るだけではない。管理責任の所在がはっきりしないという印象を人々に与えることになり、ゴミの不法投棄をはじめとする居住環境の悪化を招きやすい。またB町3丁目の成人向け雑誌・アダルトビデオ自動販売機の例のように、対象が領域性の明確でない場所にあることで、環境浄化を企図しても働きかけ先がはっきりしないため、対応に苦慮することになる。

居住環境の改善は様々な方向でその方策を考えることができるが、自然的監視と領域性は、あらゆる状況で考慮されるべき事項である。